

屋外作業時の熱中症対策に！

リストバンド型バイタルセンサー

GeoVital

ジオバイタル



東芝社製 リストバンド型センサ
「MULiSiTEN® MS200」を使用

熱中症リスクを 見える化



脈拍・温度・湿度に加え、身長・体重・既往歴等のパーソナルデータから、作業者の熱中症リスクを数値化。危険が及ぶ前にリスクを察知。

※本製品は医療機器ではありません。

仲間に危険を伝える 通知機能



本人が気づいていない熱中症による体調不良を検知し、専用アプリを介して周囲の仲間や遠く離れた管理者に通知。

※通信にはインターネット環境または専用の無線端末が必要となります。

過酷な環境に耐える タフ仕様



産業分野向けとして高い耐久性を実現する防水・防塵、耐衝撃性能で、あらゆる現場に対応。

※防塵性能 IP6X、防水性能 IPX5/IPX7)

2025年 6月、厚生労働省が熱中症対策を強化する規則改正を施行し、現場では実効的な対策が求められています。

GeoVitalは小型軽量のウェアラブル端末で、脈拍、温度、湿度、パーソナルデータから「暑さストレス値」として熱中症リスクを算出。専用アプリと連携し、閾値を超えると自動で SOSを発信します。

フォレストシー独自の長距離 IoT通信規格「GEO-WAVE」にも対応し、携帯圏内・圏外問わず仲間や管理者へ危険を知らせ、早期対応を可能にします。

5台セット
38万円から
(税別)
ご購入可能！

※5年分のアプリ利用料が含まれています。

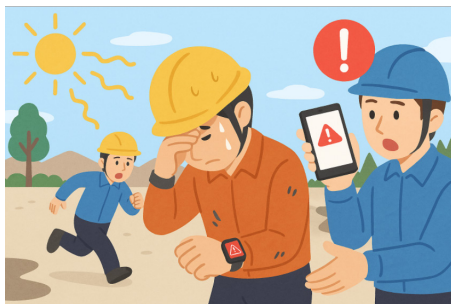
GeoVital で危険に気付く、危険を報せる

自助



GeoVitalを装着した作業者本人に対し、暑さストレス値の上昇を振動で通知。本人が気づいていない熱中症リスクを報せ、休憩や水分補給を促します。

共助



急激に暑さストレス値が上昇し閾値を超えた時は、専用アプリが自動でSOSを発信。作業現場が携帯圏内であれば携帯回線で、携帯圏外であれば「GeoChat」という通信端末(別売)の無線通信で、危険を仲間に知らせます。



「GeoBase」という親機(通信基地局)と、衛星通信アンテナ「Starlink」(どちらも別売)を現場に設置すれば、携帯圏外から遠く離れた事務所にSOSを届け、迅速な救助活動につなげることができます。

GeoVital で危険を知らせる仕組み ～つなげられなかった人とつながる～

